

令和3(2021)年度 長岡大学シラバス

| | | | | | | | | | |
|----------------|-----------------------------------|-------------|----|-----|---|------|----------------------|-----|----|
| 授業科目名 科目コード | ゼミナールⅢ(Seminar Ⅲ) 263045-14000 | | | | | 担当教員 | 吉川 宏之 (ヨシカワ ヒロユキ) | | |
| 科目区分 | ゼミナール科目 | 必修・ 選択区分 | 必修 | 単位数 | 2 | 配当年次 | 3年次 | 開講期 | 通年 |
| 科目特性 | 地域志向科目／協同学修型 AL | | | | | | | | |

| |
|---|
| ① 授業のねらい・概要 |
| 携帯電話、携帯ゲーム機など、コンピュータは身近な所で利用されています。これらの機能やサービスを調べることから始めていきます。基本を理解した上で、「身近な地域にどんなサービスがあれば便利か」を考えていきます。最近、スマートフォンの普及で便利な点も増えてきましたが、ウイルスや個人情報の漏洩など、問題も多くなっています。これらの点もふまえて検討していきたいと思います。コンピュータ室で実際にコンピュータを使いながら、新しい機器、サービスの利用方法などのグループディスカッションを含めて進めていきます。また、アルゴリズム(プログラム)の基本となる「判断分岐」、「繰り返し」についてパズルなどを利用して理解を深め、簡単なプログラムの作成を行っていく予定です。 |
| ② ディプロマ・ポリシーとの関連 |
| 地域社会に貢献する姿勢／職業人として通用する能力／専門的知識・技能を活用する能力／コミュニケーション能力／情報収集・分析力 |
| ③ 授業の進め方・指示事項 |
| 課題などの作成のために、パソコンが必要になります。学校のコンピュータを使用できますが、自宅にあると作業がはかどります。プレゼンテーションを何度か行います。PowerPoint 以外のソフトウェアでもかまいません。プレゼンテーションは内容が重要です。発表方法は各自くふうしてください。プログラムやプレゼンテーションなどの課題を期限までに作成しておくこと。 |
| ④ 関連科目・履修しておくべき科目 |
| |
| ⑤ 標準的な達成レベルの目安 |
| インターネットを活用し、自分で考えて Word、Excel、PowerPoint 等を組み合わせ、適切な資料の作成とプレゼンテーションを行える実力を養うことを目標とします。 (i) 5分程度のプレゼンテーション作成 (ii) 5分程度のプレゼンテーション (iii) 50行程度のプログラム作成 |
| ⑥ テキスト (教科書) |
| |
| ⑦ 参考図書・指定図書 |

| |
|--|
| |
|--|

| ⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法 | | | | | | | | |
|------------------------------|----------------------------------|------|----|------|-------|-----------|-----|------|
| 具体的な学習到達目標 | 試験 | 小テスト | 課題 | レポート | 発表・実技 | 授業への参加・意欲 | その他 | 合計 |
| 総合評価割合 | | | | 20% | 50% | 30% | | 100% |
| (i) 5分程度のプレゼンテーション資料の作成 | | | | | 20% | 10% | | 30% |
| (ii) 5分程度のプレゼンテーション | | | | 5% | 20% | 10% | | 35% |
| (iii) 50行程度のプログラム作成 | | | | 15% | 10% | 10% | | 35% |
| フィードバックの方法 | プログラムやプレゼンテーションなどの課題のフィードバックを行う。 | | | | | | | |

| ⑨ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等） |
|---|
| <p>プレゼンテーションの回数を増やし、自分の考えを相手に伝える方法（コミュニケーション能力のひとつ）の向上をはかる。</p> <p>遠隔による授業参加を考慮し、グループワークは後期から取り入れていく。</p> |

| ⑩ 授業計画と学習課題 | | | | |
|-------------|-------------------------------|-----|----------------------------|-----|
| 回数 | 授業の内容 | 持参物 | 授業外の学習課題と時間（分） | |
| 1 | 概要の説明 遠隔で授業を受ける場合の注意事項 | | 授業内容を復習し、次回の授業受講のために準備を行う。 | 30分 |
| 2 | 自己紹介を兼ねた地域の紹介 プレゼンテーションの説明 | | プレゼンテーション作成 | 30分 |
| 3 | 地域の紹介プレゼンテーションの作成1 | | プレゼンテーション作成 | 30分 |
| 4 | 地域の紹介プレゼンテーションの作成2 | | プレゼンテーションの発表準備 | 60分 |
| 5 | 地域の紹介プレゼンテーションの発表 | | 発表の振り返り | 30分 |
| 6 | プログラミングパズル 1(アルゴリズム) | | パズルの振り返り | 60分 |

| | | | | |
|----|-------------------------|--|----------------|-----|
| 7 | プログラミングパズル 2(アルゴリズム) | | パズルの振り返り | 60分 |
| 8 | プログラミングパズル 3(blockly) | | パズルの振り返り | 60分 |
| 9 | プログラミングの基礎 1(Scratch) | | プログラミングの振り返り | 30分 |
| 10 | プログラミングの基礎 2(Scratch) | | プログラミングの振り返り | 30分 |
| 11 | プログラミングの基礎 3(Scratch) | | 課題作成の準備 | 30分 |
| 12 | 課題(ゲームなど)の作成 1(Scratch) | | 課題作成 | 30分 |
| 13 | 課題(ゲームなど)の作成 2(Scratch) | | 課題作成 | 30分 |
| 14 | 課題(ゲームなど)の作成 3(Scratch) | | 課題発表の準備 | 60分 |
| 15 | 課題の発表と前半のまとめ | | 前期の振り返り | 30分 |
| 16 | プログラミングパズル | | パズルの振り返り | 30分 |
| 17 | プレゼンテーション作成 1 | | プレゼンテーションの資料作成 | 30分 |
| 18 | プレゼンテーション作成 2 | | プレゼンテーションの発表準備 | 60分 |
| 19 | プレゼンテーション発表 | | プレゼンテーションの振り返り | 30分 |
| 20 | テーマ課題 1 作成 1(Scratch) | | 課題作成 | 30分 |
| 21 | テーマ課題 1 作成 2(Scratch) | | 課題作成 | 30分 |
| 22 | テーマ課題 1 作成 3(Scratch) | | 課題発表の準備 | 60分 |
| 23 | テーマ課題 1 発表(Scratch) | | 発表の振り返り | 30分 |
| 24 | プレゼンテーション作成 | | プレゼンテーションの発表準備 | 60分 |
| 25 | プレゼンテーション発表 | | プレゼンテーションの振り返り | 30分 |

| | | | | |
|----|--------------|--|-----------|------|
| 26 | テーマ課題 2 作成 1 | | 課題作成 | 30 分 |
| 27 | テーマ課題 2 作成 2 | | 課題作成 | 30 分 |
| 28 | テーマ課題 2 作成 3 | | 課題発表の準備 | 60 分 |
| 29 | テーマ課題 2 発表 | | 課題発表の振り返り | 30 分 |
| 30 | まとめ | | 全体の振り返り | 30 分 |

| | |
|--|--|
| ⑪ アクティブラーニングについて | |
| 協同学修型 AL を採用する。演習問題を課し、調査結果を持ち寄ってグループディスカッションを行う(2 回程度)。作成したプログラムを、互いに比較しながら動作の違い、使いやすさ、見栄えの違いなどの検証をおこなう(2 回程度)。 | |

※以下は該当者のみ記載する。

| |
|--------------------|
| ⑫ 実務経験のある教員による授業科目 |
| 実務経験の概要 |
| |
| 実務経験と授業科目との関連性 |
| |